

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 04-001

PDCA	事務事業名	男女共同参画社会推進事業	部課等名	企画部 市民協働課 市民協働担当	担当	富田	
					内線等	237	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち					
		節： 第3節 共生社会の形成					
		基本施策： 1. 男女共同参画社会の実現					
		単位施策： (1) 共同参画意識の醸成と参画しやすい環境づくり					
	根拠法令等	個別施策： ①男女共同参画意識の向上					
	根拠法令等	半田市男女共同参画推進条例					
	対象・目的	男女共同参画社会を推進するため、市民の男女共同参画への理解促進を図る。また、第2次半田市男女共同参画推進計画を着実に遂行するため、各施策の進捗状況の把握・検証を行う。					
	目的を達成するための手段・活動内容	男女共同参画の理解促進のため、市民講座、職員及び教職員研修を開催する。 市民団体が実施する啓発事業を支援するため補助金を交付する。 男女共同参画推進計画の進捗を管理するため、有識者、市民等で組織する審議会を開催する。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		28年度	29年度	30年度	単位
		①市民向け講座開催数		2	3	2	回
		②男女共同参画審議会開催回数		3	3	3	回
		③職員及び教職員向け研修会受講者数		128	169	120	人
		事業費		905	1,145	878	千円
		人件費		2,541	2,538	2,626	千円
		総事業費		3,446	3,683	3,504	千円
		活動単位当たりのコスト		28年度	29年度	30年度	単位
		①職員及び教職員研修に係るコスト		391	488	625	円
	成 果	成果指標		28年度	29年度	30年度	単位
		①市職員対象男女共同参画講座受講率（5年間で完了）	実績値	30	58	74	%
			目標値	40.0	60.0	80.0	
		②各男女共同参画社会推進事業参加者数	実績値			1,050	名
			目標値			900	
				実績値			
		目標値					
C 課題の整理	観点別評価	必要性		有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ある
	事業の評価・課題	C					
		男女共同参画社会推進事業の参加者数については、標語・ポスターコンクールや男女共同参画落語などの実施により、目標を上回ることができたが、イベントや各種講座への参加者は、年配の方が多いため、若い世代への啓発方法を検討する必要がある。					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進				
各種イベントについては、若い世代を含む幅広い世代をターゲットとしたものへと内容を見直し、若い世代の男女共同参画への意識高揚を図っていく。また、職員研修の未受講者に対しては、直接、講座を受講するよう促していく。							
令和元年度の目標		成果指標			目標値	単位	
		①市職員対象男女共同参画講座受講率（5年間で完了）			100.0	%	
		②各男女共同参画社会推進事業参加者数			1,000	人	